

Long mer Oligo DNA



ロングオリゴ DNA (～150mer まで)

日本遺伝子研究所では、独自の「脱プリン化オリゴ除去処理」を施したロングオリゴ DNA をお届けしています。このポリカチオン detergent 処理により脱プリン化オリゴを除去する手法によって、他にない高品質なロングオリゴ DNA の製造が実現しています。

▶脱プリン化オリゴとは

鎖長が長くなるほど、強酸性試薬にさらされる機会が増加するオリゴ DNA 合成。強酸性試薬は、プリン塩基(アデニン・グアニン)を脱プリン化してしまう危険性を持っています。脱プリン化された部分は、熱などの負荷によって簡単に切断されてしまいます。

このような脱プリン化塩基を含むオリゴ DNA 鎖の除去処理をすることが、ロングオリゴ DNA を製造するにあたり大切なことの一つであると認識しています。

▶『リアルタイム PCR における脱プリン化オリゴの影響』のデータを弊社ホームページに掲載しています。

⇒詳細は[こちら](#)

▶ロングオリゴ DNA の用途は様々。SNP の導入やタグ配列挿入のような短鎖長の取り込みを目的とする場合や、コントロールとしてご使用いただく場合など、どんな用途にでも適用できる品質であることを自負しています。

弊社では、150mer までのロングオリゴ DNA 合成を承っております。